

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成23年6月2日(2011.6.2)

【公開番号】特開2009-15154(P2009-15154A)

【公開日】平成21年1月22日(2009.1.22)

【年通号数】公開・登録公報2009-003

【出願番号】特願2007-178705(P2007-178705)

【国際特許分類】

G 02 B 21/24 (2006.01)

G 02 B 7/04 (2006.01)

【F I】

G 02 B 21/24

G 02 B 7/04 C

【手続補正書】

【提出日】平成23年4月14日(2011.4.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ステージ又は対物レンズを移動させるための回転操作手段と、

前記回転操作手段の一回転当たりの前記ステージ又は前記対物レンズの移動量を切り替えて設定する切替手段と、

前記切替手段の設定状態を検出する検出手段と、

前記検出手段で検出された前記切替手段の前記設定状態に応じて前記回転操作手段の操作時の操作感を決定する制御手段と、

前記制御手段で決定された前記回転操作手段の操作感に基づいて前記回転操作手段の操作感を調整する操作感調整手段と、

を有することを特徴とする操作装置。

【請求項2】

前記回転操作手段の操作感を記憶する記憶手段を有し、

前記制御手段は、前記切替手段の前記設定状態に応じた前記回転操作手段の操作感として、前記記憶手段に記憶されている操作感を読み出して採用することを特徴とする請求項1に記載の操作装置。

【請求項3】

前記切替手段によって前記ステージ又は前記対物レンズの前記移動量が大きい状態に切り替えられたとき、前記回転操作手段の操作感は相対的に重くなり、

前記切替手段によって前記ステージ又は前記対物レンズの前記移動量が小さい状態に切り替えられたとき、前記回転操作手段の操作感は相対的に軽くなることを特徴とする請求項1又は請求項2に記載の操作装置。

【請求項4】

前記回転操作手段の操作感は、前記回転操作手段を回転させる回転トルクを調整することで制御することを特徴とする請求項1から請求項3のいずれか1項に記載の操作装置。

【請求項5】

請求項1から請求項4のいずれか1項に記載の操作装置を備えたことを特徴とする顕微鏡。

【請求項 6】

請求項 1 から請求項 4 のいずれか 1 項に記載の操作装置を備えており、

前記回転操作手段は、ステージを上下動させるもの、又は、X 又は Y 方向へ移動させるものであることを特徴とするステージ装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

上記課題を解決するために本発明は、

ステージ又は対物レンズを移動させるための回転操作手段と、

前記回転操作手段の一回転当たりの前記ステージ又は前記対物レンズの移動量を切り替えて設定する切替手段と、

前記切替手段の設定状態を検出する検出手段と、

前記検出手段で検出された前記切替手段の前記設定状態に応じて前記回転操作手段の操作時の操作感を決定する制御手段と、

前記制御手段で決定された前記回転操作手段の操作感に基づいて前記回転操作手段の操作感を調整する操作感調整手段と、

を有することを特徴とする操作装置を提供する。